

製品名: Jun D (リン酸化 Ser255) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04913**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000,IP 1:20-1:50
分子量	

抗原情報

遺伝子名	JUND
別名	JUND; Transcription factor jun-D
遺伝子 ID	3727.0
SwissProt ID	P17535
免疫原	抗血清は、Ser255 のリン酸化部位周辺のヒト JunD 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 222-271

背景

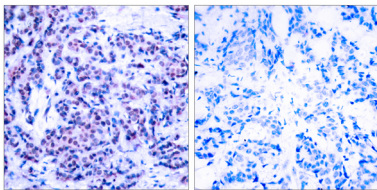
このイントロンレス遺伝子によってコードされるタンパク質は JUN ファミリーのメンバーであり、AP1 転写因子複合体の機能的構成

要素です。このタンパク質は、p53 依存性の老化およびアポトーシスから細胞を保護することが示唆されています。代替的な翻訳開始部位の使用により、異なるアイソフォームが生成されます (PMID:12105216) 。[RefSeq 提供、2013 年 11 月],機能: AP-1 部位に結合し、共導入により AP-1 部位を有するプロモーターの活性を刺激します。、類似性: bZIP ファミリーに属します。Jun サブファミリー。、類似性: 1 つの bZIP ドメインを含みます。、サブユニット: 二量体として DNA に結合する。、

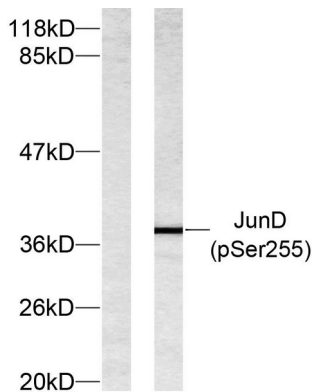
研究分野

MAPK_ERK_成長;MAPK_G_タンパク質;

画像データ



JunD (リン酸化 Ser255) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



フォルスコリン処理した 293 細胞ライセートの JunD (リン酸化 Ser255) 抗体を用いたウェスタンブロット解析。左のレーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。